

「日医標準レセプトソフト」（以下、本システム）のバージョン 5.0.0（平成 29 年 1 月リリース）以降を対象としたオフラインメンテナンスについて説明します。

1 オフラインメンテナンス

本システムは、原則としてインターネット接続環境での使用を前提としています。ただし、ユーザの都合や地域的な環境の問題のため非接続環境での使用も考慮する必要があります。運用にあたっては、随時マスタのメンテナンスやシステムのメンテナンスが発生しますので、非接続環境におけるメンテナンスの方法について説明します。

2 オフラインメンテナンスで必要なもの

オフラインメンテナンスを行う上で必要なものは以下となります。

- ・システムをアップグレード（インストール）するための本システム関係の deb パッケージファイル
- ・システムをアップグレード（インストール）するための Ubuntu Official パッケージファイル
- ・システムをアップグレード（インストール）するために必要なデータベースの構造変更等処理を行う更新データファイル
- ・マスタをメンテナンスするためのマスタ更新データファイル
- ・deb パッケージよりアップグレード（インストール）されたプログラムに対し修正を施したプログラムで置換えをするためのプログラム更新データファイル
- ・地方公費及び公開帳票のプラグインパッケージファイル（ver5.0.0 以降）

これらのプログラム及びデータファイルを CD-ROM 等のメディアに記録しメンテナンスを行うデータソースとします。

オフラインメンテナンスのために作成するデータソースは、

Ubuntu Official パッケージ メディアにより複数枚

本システム関係 CD-ROM 1 枚

となります。

（注意）本説明書では、Ubuntu Official パッケージについては説明を割愛します。

3 オフラインメンテナンスデータソース作成（本システム関係）

本システムをメンテナンスするためのデータソース作成について、CD-ROM 等のメディアに記録を行うことを前提に説明を行います。

（１）データソースのダウンロード

データソースを取得するためのスクリプトファイルをダウンロードします。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/tools/jma-offline-pkg.tgz
```

(md5: 78e3cf1c79886d9c3666869d68e4d3ae jma-offline-pkg.tgz)

ファイルを解凍します。

```
$ tar xvzf jma-offline-pkg.tgz
```

ディストリビューションに合わせたオプションで処理を行います。

```
$ cd jma-offline-pkg
```

- ・ Ubuntu18.04 **bionic 5.1.0** の場合
\$ bash jma-offline-pkg-v4 **bionic5.1**
- ・ Ubuntu16.04 **xenial 5.1.0** の場合
\$ bash jma-offline-pkg-v4 **xenial5.1**
- ・ Ubuntu16.04 **xenial 5.0.0** の場合
\$ bash jma-offline-pkg-v4 **xenial5.0**

ライセンスマスターの更新データファイルを取得する場合は、アクセスキーの設定ファイルを準備します。

解凍したディレクトリ内にある設定ファイル(accesskey)を編集します。

```
#HOSPID=" JPN000000000000"
#ACCESSKEY=" 1111222233334444 ~ ddddeeefffffgggg"

HOSPID=" " ← 医療機関 ID を入力
ACCESSKEY=" " ← アクセスキーを入力
```

アクセスキーは本システムのマスタ更新画面からキー取得処理を行います。

医療機関専用サイト (<https://orcaid.orca.med.or.jp/minst/signin>) から発行されたアクセスキーを参照してください。

処理コマンドに -l (小文字のエル) オプションを指定して実行します。

- ・ Ubuntu18.04 **bionic 5.1.0** の場合
\$ bash jma-offline-pkg-v4 **-l bionic5.1**

確認メッセージを表示しますので “Y” (はい) と入力するとダウンロードが始まります。

処理を開始します。よろしいですか? (Y/N) : Y

スクリプトにより /tmp/jma-cdwork という作業フォルダを作成しダウンロードします。

(2) CD-ROM 等メディアの記録

CD ライティングソフトウェアを使用して、作業フォルダから CD-ROM 等のメディアへ記録を行います。

カレントが pub/ から始まるように注意して記録を行います。

◆CD-ROM 記録の参考

iso イメージファイルの作成

```
$ mkisofs -r -l -J -o /tmp/orcamnt.iso /tmp/jma-cdwork
```

この例では、/tmp フォルダに orcamnt.iso というファイルが作成されます。

CD-ROM へ記録

-dummy オプションを指定して書き込みテストを実行します。

```
$ cdrecord dev=/dev/*** speed=4 -dummy -v -data /tmp/orcamnt.iso
```

dev= オプションには、CD-R/RW ドライブのデバイス名を指定します。

問題なければ実際に書き込みを行います。

```
$ cdrecord dev=/dev/*** speed=4 -v -data /tmp/orcamnt.iso
```

以上で、本システム関係のメンテナンスデータソースが完成しました。

4 セットアップ（環境設定ファイルの編集）

(1) 本システムのメンテナンスのためのセットアップ

apt-line の設定ファイル (/etc/apt/sources.list.d/[設定ファイル]) を編集します。

例えば、CD-ROM のマウントポイントが /cdrom の場合は以下のように設定を行います。

【bionic】の場合

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu bionic(version) jma
```

(version) 部分は、例えば 5.1.0 ならば 5.1 となります。

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu bionic5.1 jma
```

【xenial】の場合

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu xenial(version) jma
```

(version) 部分は、例えば 5.1.0 ならば 5.1 となります。

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu xenial5.1 jma
```

以下は、bionic5.1.0 版を例として jma-receipt-bionic51.list を編集した内容となります。

```
#deb      http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu bionic5.1 jma
#deb-src  http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu bionic5.1 jma
#deb      http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu bionic-common jma
#deb-src  http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu bionic-common jma
# ← 設定が有効になっている行をコメントにします
deb       file:/cdrom/pub/ubuntu bionic5.1 jma
deb       file:/cdrom/pub/ubuntu bionic-common jma
```

次に、Ubuntu Official パッケージのための apt-line 設定ファイル (/etc/apt/sources.list) を編集します。

以下は、xenial を例とした内容となります。

```
#deb cdrom:[Ubuntu 18.04.1 LTS _Bionic Beaver_ - Release amd64(20180725)]/ bionic main
restricted

# See http://help.ubuntu.com/community/UpgradeNotes for how to upgrade to
# newer versions of the distribution.
#deb http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ bionic main restricted
#deb-src http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ bionic main restricted
# ← 設定が有効になっている行をコメントにします
## Major bug fix updates produced after the final release of the
## distribution.
#deb http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ bionic-updates main restricted
#deb-src http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ bionic-updates main restricted
# ← 設定が有効になっている行をコメントにします
## N.B. software from this repository is ENTIRELY UNSUPPORTED by the Ubuntu

～（以下省略）
```

（２）DB 構造変更、プログラム更新、マスタ更新のためのセットアップ

DB 構造変更、プログラム更新、マスタ更新などメンテナンスを行うための更新データの位置について設定を行います。

/etc/jma-receipt/jma-receipt.conf を編集します。

メンテナンス内容に対する更新データの位置を表す環境変数は以下となります。

DB 構造変更	: DBUPGRADEPATH
プログラム更新	: PGUPGRADEPATH

標準マスタ更新 : MSTUPDATEPATH

ライセンスマスタ更新 : DBLICENSEPATH

例えば、更新データの媒体が CD-ROM であり、マウントポイントが /cdrom の場合は以下のように設定を行います。

(省略)

```
#WGETOPTION=--passive-ftp
```

```
# file protocol
```



ファイルプロトコルを記述する

```
DBUPGRADEPATH=file:///cdrom/pub/orca_data ← コメント(#)を削除
```

```
PGUPGRADEPATH=file:///cdrom/pub/bugfix/(os)/(architecture)/(version) ← コメント(#)を削除
```

(os)には、bionic, xenial の場合 ubuntu

(architecture)には、bionic, xenial の場合 amd64、それ以外の場合 i386

(version)には、bionic の場合 bionic、xenial の場合 xenial

```
MSTUPDATEPATH=file:///cdrom/pub/orca_data ← コメント(#)を削除
```

```
DBLICENSEPATH=file:///cdrom/pub/orca_data/license_master ← コメント(#)を削除
```

この他に、更新データの位置が nfs 上にある場合も、そのパスをファイルプロトコル (file://) を使用して記述を行います。

なお、ネットワーク上に ftp サーバまたは http サーバを設置し、それより更新データを取得させる場合は、それぞれ http protocol、ftp protocol の環境変数に対し編集を行います。

(3) プラグインパッケージのためのセットアップ (ver5.0.0 以降)

プラグインパッケージのマウントポイントは、/media になります。

例えば、CD-ROM のマウントポイントが /cdrom の場合はシンボリックリンクを作成します。

```
$ sudo ln -s /cdrom/pub /media/pub
```

次にプラグインの設定ファイル (/etc/jma-receipt/jppinfo.list) を編集します。

```
---
:root: /var/lib/jma-receipt/plugin
:list:
- /media/pub/receipt/plugin/(version)/jpplist1-offline.yml
- /media/pub/receipt/plugin/(version)/jpplist2-offline.yml
:linkprefix: /usr/local/site-jma-receipt
:verify: true
```

※(version)には、日レセのバージョン 5.1.0 の場合 5.1.0

5 更新処理

環境設定ファイルが、本説明書の「4 セットアップ（環境設定ファイルの編集）」で説明した内容になっていることを確認します。

（１）メンテナンスデータソースのマウント

メンテナンスデータソースを CD ディスク装置にセットします。

（２）本システムのアップグレード（インストール）の実行

```
$ sudo apt-get update
```

エラーが発生していないことを確認してください。

```
$ sudo apt-get dist-upgrade
```

パッケージのアップグレード（インストール）が正常終了したことを確認してください。

（３）マスタ更新、プログラム更新処理の実行

本システムのメニュー画面より「プログラム更新」または「マスタ更新」を選択し更新処理を実行します。

※オンライン更新でもオフライン更新でも処理の起動方法は同じです。

（４）プラグインパッケージ更新処理の実行（ver5.0.0 以降）

（５）/media ポイントのシンボリック解除（ver5.0.0 以降でプラグインの設定した場合）

```
$ sudo rm /media/pub
```

（６）CD-ROM のアンマウント

オフラインメンテナンス説明書

メンテナンスデータソースを CD ディスク装置から取り出します。